

COVID-19 とインフルエンザの違い: 知っておくべきこと

2020年10月26 | 配布: 全グローバル チームメンバー

チームメンバー各位

これから冬の寒い時期に入ると、COVID-19 とインフルエンザへの感染リスクを高める様々な要因があります。屋外での活動が減り、屋内や換気の悪い空間で COVID-19 の感染率が高まる可能性が高いことを多くのデータが示唆しています。また、再開した学校に戻った児童生徒から、インフルエンザや COVID-19 などのウィルス性疾患の感染が拡大することも考えられます。

従業員そしてその家族全員のために、こういったリスクを予測し、職場において(休憩中も含めて)社会的距離、マスク、衛生習慣などのガイドラインを引き続き遵守していくことが重要です。

インフルエンザの最善の予防策は予防接種を受けることです。実績と安全性のあるインフルエンザワクチンには、病気の伝播を予防すると同時に、インフルエンザの重症度を緩和する効果があります。インフルエンザ予防接種の一般的な副作用には、注射部位の軽い痛み、吐き気、悪寒などがあげられます。健康な成人および生後6か月以上の子供は、接種を受けることが推奨されています。対象には妊婦や免疫力の低下している方も含まれます。

症状が類似しているため、感染した場合は COVID-19 とインフルエンザのどちらであるかの区別が困難です。空咳または発熱などの症状がある場合は、どちらに感染したかを臆測しないようにしてください。医師の診療を受け、必要に応じてインフルエンザと COVID-19 両方の検査を受け、感染を最小限に抑えるための指示を仰いでください。病気になり、症状がある場合は、絶対に出勤しないようお願いいたします。

信頼のおける情報として、疾病予防管理センター(CDC)の[インフルエンザと COVID-19 の類似点と相違点](#)を参考にしてください。

インフルエンザ予防接種の提供または斡旋については、CoorsTek の各拠点で詳細を連絡する予定です。

[添付の症状ポスターを確認のうえ、各拠点で必要な場所に掲示してください。](#)

Ondrea Matthews
Sr. Director Risk Management & Benefits

Scott Dolan
Sr. Director EHS